

(財)ひろしま国際センター  
平成 19 年度メンバーシップ(会員)の現状と事業のご報告  
並びに平成 20 年度の事業展開について

## 1 メンバーシップ(会員)の現状

### (1) 実績

平成 19 年度にメンバーシップ(会員)の皆様から頂戴いたしました会費の実績は以下のとおりです。

個人会員様より	1, 663, 000円 (866人)
団体会員様より	5, 590, 000円 (161団体)
合計	7, 253, 000円

平成 18 年度 (6, 884 千円) に比べて 5% の増加となりました。ご協力、誠に有難うございました。

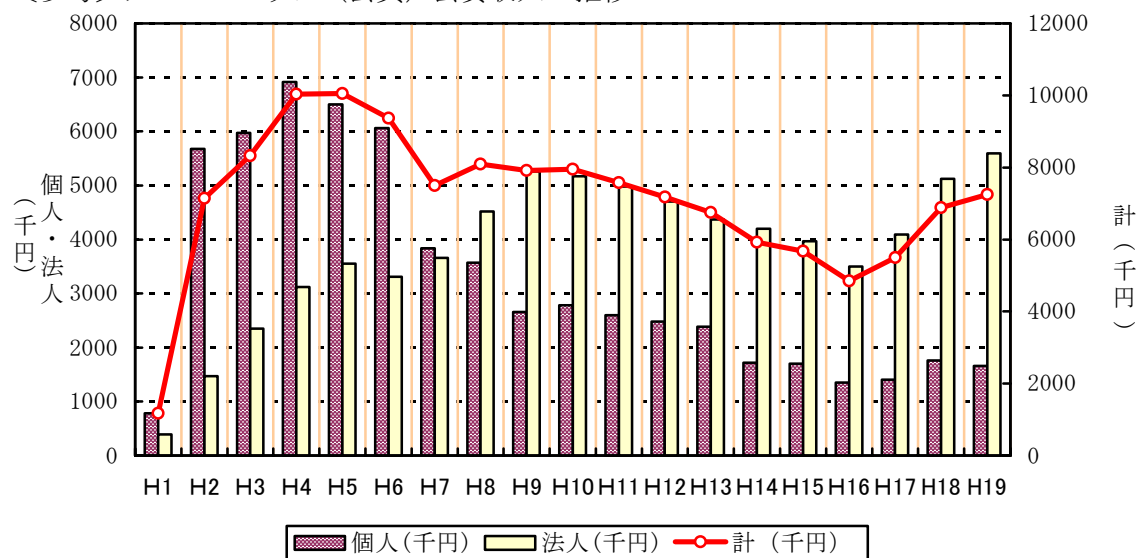
### (2) 会費収入と財源確保

メンバーシップ(会員)会費収入につきましては、平成 9 年度以降、漸減傾向が続いておりましたが、皆様のご協力のお陰で平成 17 年度から上昇に転じることができ、19 年度には法人会費収入が過去最高となりました。(下記の推移表・グラフ参照)。

当センターの交流部(中区中町広島クリスタルプラザ 6 階)の事業費は、主としてメンバーシップ(会員)会費収入と基本財産運用収入に頼っておりますが、基本財産運用収入は低金利で推移しています。このため、当センターでは、事業見直しと効率化に努めるとともに、新たな財源の確保を図って参りました。

今後とも、県民の皆様そして外国籍県民の方の国際化、共生を促進するセンターとしてより充実した事業を展開して参ります。引き続き会員の皆様のご協力をお願いします。

[参考] メンバーシップ(会員)会費収入の推移



### (3) 平成 19 年度交流部事業費（一般会計）の収支決算の状況

(単位：千円)

支 出			収 入		
区 分	金 額	備 考	区 分	金 額	備 考
多文化共生社会 支援事業	18,366	・国際交流サミット ・こども国際教室 ・外国人総合相談窓口 ・機関誌(HIC 通信)発行 ・情報ネット(HP) ・広島国際クラブ ・ボランティア運営 ・H I C 交流サロン運営 ・日本文化理解 等	基本財産運用収入	17,955	・基本財産 10 億円の運用収入
平和貢献推進・ 人材育成事業	4,275	・平和貢献人材育成 ・アジア塾	メンバーシップ (会費)収入	7,253	
留学生支援事業	3,311	・奨学金支給 ・ワンペア交流 ・文化施設優待	県からの補助金・ 負担金・委託料	81,581	・建物賃借料分 ・派遣県職員給与分 ・相談員報酬分 等
派遣団体連携事業	7,000	・県を除く職員派遣 6 団体への負担金	参加者負担金等	2,936	・アジア塾参加費 ・文化理解参加費 ・ホール使用料 等
管理費等	80,572	・建物賃借料 ・派遣県職員給与 ・光熱費 ・コピー機、パソコン等リース料 等	多団体からの助成 金・負担金	3,270	・自治体国際化協会 ・JICA 中国 ・平和中島財団
計	113,524	(A)	計	112,995	(B)

- ① 基本財産 10 億円の出资者は、県が 6 億円，市町村 2 億円，民間等 2 億円です。
- ② メンバーシップ（会員）会費収入と基本財産運用収入は、各事業費の実施経費に充てております。  
また、ふれあいコーナーの図書・雑誌の購入費や機関誌の印刷・発送費，ホールの光熱費やコピー機等のリース料，消耗品購入費などにも充当しております。
- ③ 交流部（広島クリスタルプラザ 6 階）の建物賃借料，派遣県職員給与，外国人総合相談窓口の事業費，ひろしま国際情報ネットワーク（HP）運営費は、全額県が負担しています。  
民間派遣職員の給与は派遣元の企業が直接負担しています。
- ④ 収支（B－A）の不足額 529 千円については、財政調整基金（平成 18 年度末残額 54,005 千円）から補填しました。

## 2 各事業のご報告

平成 19 年度中、皆様から頂きました会費を財源として活用させて頂いた事業について、ご報告申し上げます。※を付した事業については、県からの受託費・補助金，JICA 中国などからの財源等を一部充当しています。

### (1) 多文化共生社会支援事業

#### ① ひろしま国際交流サミット運営事業

県内の国際交流・協力団体や NGO，ボランティアグループにより構成される「ひろしま国際交流サミット」を運営（19 年度末加盟団体 162），県内 3 箇所で開催及び分科会を開催しました。また、これらの団体の活動に関する情報を当センターの機関誌「HIC 通信」の「Upcoming Events News」に記載し，4 回発行しました。



ひろしま国際交流サミット総会

#### ② 中国・四国地区地域国際化協会連絡協議会運営事業

ひろしま国際センターと同様に地域を基盤として国際化活動をしている中国・四国地区の地域国際化協会（当センターを含め 10 団体）の連絡協議会が，9 月にルポール讃岐（高松市）で開催され，情報交換などを行いました。

③ こども国際教室開催事業

留学生をはじめとする外国籍県民を、講師として県内の小学校などに派遣し、各国・地域の文化紹介や交流イベント等を行います。平成 19 年度は、32 会場の小学校等を訪問し、延べ 3,535 名の児童が参加しました。



こども国際教室

④※外国人総合相談窓口運営事業・多文化共生の地域づくり支援事業（県からの受託・補助事業）

広島県では、外国人が地域の多様な活力として地域社会に参加できるよう、外国人が暮らしやすく活躍できる環境づくりとともに、地域で外国人と生活を共にする県民の国際理解を進めて行く「多文化共生の地域づくり」に取り組んでいます。

平成 18 年 4 月 15 日から「外国人総合相談窓口」を設置し、6ヶ国語（英語、フィリピン語、中国語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語）でビザや社会保険・労働問題等の専門的な相談に対応しています。平成 19 年度中は、32 の国・地域の人延べ 583 人から 631 件の相談がありました。



外国人総合相談窓口

また、外国籍県民と接する機会の多い市・町や大学の職員、国際交流ボランティアの皆様が「ビザ」や「労働問題」など外国籍県民をめぐる課題について学ぶ「外国籍県民支援セミナー」を、平成 19 年度中 4 回開催し、延べ 196 人の方が参加されました。

そのほか、県内の国際化関係の情報を提供するポータルサイト「ひろしま国際情報ネットワーク」に掲載している「暮らしの手引き広島」を、英語、中国語、韓国語、フィリピン語、ポルトガル語、スペイン語の 6 カ国語に翻訳し、ホームページに掲載しました。

⑤ 情報提供事業（ふれあいコーナー運営事業、機関誌発行事業、※ひろしま国際情報ネットワーク運営事業〔県からの受託事業〕）

県民や外国人が自由に歓談できるふれあいの場を提供するとともに、日本や外国に関する多様な情報の提供を行っています。

平成 19 年度中、交流部には、延べ 34,948 名（内外国人は 18,485 名）が来館され、国籍を問わない交流に寄与しました。また、1,272 件の様々な問い合わせに対応しました。



ふれあいコーナー

その他、県内の国際化関係の情報を提供するポータルサイト「ひろしま国際情報ネットワーク（HIINT）」の運営（広島県からの受託）、機関誌「HIC 通信」・メールマガジンの発行を行いました。

⑥ 広島国際クラブ運営事業

留学や研修などで広島と関わりを持った外国人を会員として、帰国後も広島との情報交換などを行なうネットワークを構築しており、8つの国・地域に 13 の支部があります。

⑦ 国際交流なんでもボランティア運営事業

ボランティア活動への参加を希望する方を募集・登録し、当センターが行う各種事業のお手伝いをお願いする他、非営利団体などの依頼に応じて派遣します。平成 19 年度末現在で 1,123 名の方にご登録頂いています。

### ⑧ HIC 交流サロン運営事業

県民と、外国籍県民が気軽に交流できる場を提供し、身近な国際交流を推進しています。

日本語教室（日本語のグループレッスンです）は土曜・火曜日に開催し、約 50 名の日本語ボランティアの方々が在広の多くの外国人の方々に日本語を教えています。

また、ワンペア日本語サロン（ボランティアと外国人が 1 対 1 で日本語の勉強を行います）、日本文化サロン（週替りで煎茶・生け花・俳句・抹茶が体験できる場を提供しています）、国際交流サロン

（外国人と日本人が自由に集まり会話を楽しむことができる場です）を運営しています。

平成 19 年度中、延べ 7,136 名の方が参加されました。



日本文化サロン（抹茶）

### ⑨※日本文化理解促進事業

外国籍県民等に、地域の伝統行事への参加、歴史文化鑑賞、ホームステイなどを通じた日本文化体験の機会や地域住民との交流の場を提供するとともに、ボランティア活動の場を創出しています。平成 19 年度中、6 つのプログラムを実施、延べ 215 名の外国人が参加しました。

## (2) 平和貢献推進・人材育成事業

### ①※平和貢献人材育成事業（JICA 中国との連携事業）

国際協力や NGO 活動、開発途上国に対する県民の理解を促進し、その将来の担い手を育成するため、カンボジアへのスタディツアー（2 月。ファシリテーター養成事業参加者を含む 24 名参加）及び開発教育ファシリテーター養成事業（10 月～3 月に全 19 回の講座を開催）を実施しました。



カンボジアスタディツアー

### ②※国際理解講座「ひろしまアジア塾」開催事業

県民のアジア太平洋地域への理解を促進し、友好交流の推進を図るとともに、同地域との交流や NGO 活動を推進するリーダー的人材の育成を図る「ひろしまアジア塾」を開催（平成 19 年度で 16 回目。広島経済大学の中山教授が塾長）、講義とゼミナール活動のほか、公開講座を 13 回実施しました。（受講者 57 名。中国への海外研修へは 14 名が参加）



ひろしまアジア塾

## (3) ※留学生支援事業

県内で学ぶ外国人留学生の生活や日本理解を支援し、また、県民との交流促進を図ります。

具体的には、

- ・ 74 名の留学生に月額 3 万円の奨学金を 1 年間支給しました。
- ・ 県内 73 文化施設等の協力を得て、留学生の入場料等を減免していただきました。

## 3 平成 20 年度の事業予定について

20 年度も、引き続き前記事業を着実に実施して参ります。具体的には外国人総合相談窓口の専門的相談の充実や留学生の就職支援を本格的に開始するなど留学生支援の一層の強化を図ります。また国際交流ボランティアの育成・活用などにより、外国籍県民支援の拠点としての機能をより一層高めていくとともに、市町や民間交流団体などの国際化への主体的な取り組みを支援していきます。更には、長年にわたる国際理解講座「ひろしまアジア塾」をそのプログラム内容を改めて見直し、「ひろしま国際塾」としてリスタートさせ、県民の国際理解と国際人材育成の促進を図って参ります。

今後も、頂戴した会費は、効果的に事業運営に使わせて頂きます。  
変わらぬご支援の程、何卒よろしくお願い申し上げます。